



完成したつまみ細工作品

とりの工夫が生かされ、何か一つのもの自分で完成させていくことすばらしさを感じられたのではないかと思います。

文化研修では、1回目は区民を優先に募集しましたが、2回目は運営委員を対象に企画し、併せて陰ながら協力していただいている家族の皆さんに参加してもらいました。

「もう一枚やりたい」の声に再挑戦の機会を設定するなど、納得していただくまで実施しました。

コロナ禍の令和4年度の公民館活動は、臨機応変に新型コロナの隙についてやっていくという作戦です。

岩屋地区 公民館

合言葉は「コロナの隙について」

グラウンドゴルフは岩屋体育協会とのコラボと、岩屋グラウンドゴルフクラブとのコラボで2回実施。岩屋クラブのメンバーは全員高齢者で実力は伯仲。順位はまったく予測不能の中、元氣一杯のプレーや素敵な笑顔に癒されました。



クラフトバッグ作りの様子

クラフトバッグは紙バンドで作ります。80代後半の方や90代の方、お

金屋地区 公民館

ウイズコロナで

昨年度はコロナ禍にあって、予定していた事業が度々中止となり、2事業の実施にとどまりました。今年度は、新型コロナも3年目に入ってから少しは収まってくるとの希望的観測をもって事業計画を立て進めてきました。

7月に入り「かがやけ金屋人」の主催事業「公民館へ行こう」の開催事業として、安心安全講座を開催。宮津警察加悦交番の巡查部長から交通安全について、宮津警察生活安全課長から防犯・特殊詐欺について講演いただきました。天候にも恵まれ、また、共催事業になったことで、地産地消の野菜市、フリーマーケット、児童の学習教室もあり、多くの方に参加いただきました。その中で「金屋城址に学ぶ」と題して、地域に関わりの深いテーマで教育委員会の加藤晴彦氏の講演があり、有意義な時間を過ごしました。当事業をスタートに「金屋城跡に登ってみませんか」を企画。事前に現地の環境整備、案

加悦地域 公民館

「人が集い人を結ぶ公民館活動」を意識して

ばあちゃんに連れて来てもらった中学生の女の子との対比が印象的でした。90代の女性の方は一人暮らしですが結構多趣味な方で、「こうして地域の方々と交わるのも楽しいし、別の講座にも参加したい」と話してくれました。このほか、キッズステーション春、夏の映画会、プリザーブ

今年度のテーマとして掲げた「人が集い人を結ぶ公民館活動」さらなる地域の活性化を目指して」に向けて、昨年までの事業を見直し、また、新たな事業も取り入れた活動を計画しました。しかし、今年度も新型コロナの感染拡大のため、夏休み期間中の小学生を対象とした事業をすべて中止せざるを得なかったことは非常に残念でなりません。

ドフラワー、麻雀大会、寄せ植えと慌ただしく過ぎましたが、何とか新型コロナの隙をつくることができたように思います。最後に、やっぱり参加された皆さんに「楽しかった」と言っていただけなのが何よりの励みとやりがいになります。今後はそれをさらに目指していきます。

よりもかなり少ない8人で「百合と玉バラのコサージュ」の作成に挑戦。参加者の皆さんは、指導者の先生の説明を受けながら細かな作業を苦とせずに、一つずつ、少しずつの地道な作業を繰り返えし、見事に作品を仕上げられました。先生からも「難易度の高い玉バラの挑戦だったが、かわいらしく作っていただき、楽しんでもらえたと思います」と誇りいただきました。そこには、人の作品を見ながら自分の作品に工夫を凝らしていくなどの交流の中から、作成するテーマは同じでも、一人ひ



金屋城址で記念撮影

内板の設置等を経て9月25日に実施し、14人の参加があり大変喜んでいただきました。

10月には「オータムコンサートin金屋」をウインドオーケストラ与謝に出演いただき開催。参加者の皆さんの馴染みの曲や、地元与謝小学校の校歌も歌っていただきました。11月には、恒例の区民チャレンジ講座「そば打ち体験教室」を実施。子ども

22人の方が参加し、でき上がったそばは各家庭に持ち帰られおいしく食べられたことと思います。

公民館の振興

公民館は地域住民にとって最も身近な学習拠点というだけでなく、交流の場として重要な役割を果たしています。公民館では、住民の学習ニーズや地域の実情に応じた多様な学習機会の提供が行われています。さらに、今後は、社会の要請に的確に対応した取り組みや、子どもや若者、働き盛りの世代も含めて、地域住民全体が気軽に集える、人間力の向上などを中心としたコミュニティのためのサービスを総合的に提供する拠点となることを期待されています。

〈文部科学省ホームページより〉